

秋田県農業委員会女性協議会だより 〈第9号〉

発行日 令和6年3月13日
秋田県農業委員会女性協議会

1. 岸田文雄内閣総理大臣を表敬訪問



全国農業委員会女性協議会等による「女性の農業委員会活動推進シンポジウム（東京都内開催）」の翌日、令和6年3月7日に本協議会の有志メンバーが、県農業会議二田会長引率のもと、首相官邸で岸田文雄内閣総理大臣を表敬訪問しました。メンバーから農業委員会活動を通じ女性活躍に向け活動を推進すること等、意気込みを伝えました。

2. 令和5年度北海道・東北ブロック女性農業委員・農地利用最適化推進委員研修会を秋田市で開催

令和5年11月7日に秋田市「にぎわい交流館AU」において令和5年度北海道・東北ブロック女性農業委員・農地利用最適化推進委員研修会を「女性農業委員・農地利用最適化推進委員のあるべき姿とは」をテーマに開催し、同研修会過去最多の246名が出席しました。

東京農業大学の堀部篤教授を講師に迎え、『『期待』を気にせず、伸び伸び活動を～『特別』から『当たり前』に～』と題し基調講演を行ったほか、横手市農業委員会の飯野正和会長、みやぎアグリレディス21の伊藤恵子会長（宮城県美里町農業委員会会長）より農業委員会や組織の会長の視点から女性委員の活動について発表いただき、意見交換を行いました。「地域の女性を会議や研修会に参加させるにはどうすれば良いか」「山間部の地域計画作成を前向きに取り組んでもらうにはどんな工夫が必要か」など、課題や現状について活発な意見が交わされました。

次回、この研修会は令和6年9月3日に山形市「山形テルサホール」で行われます。



【基調講演を行う堀部篤教授（左）と出席者（右）】

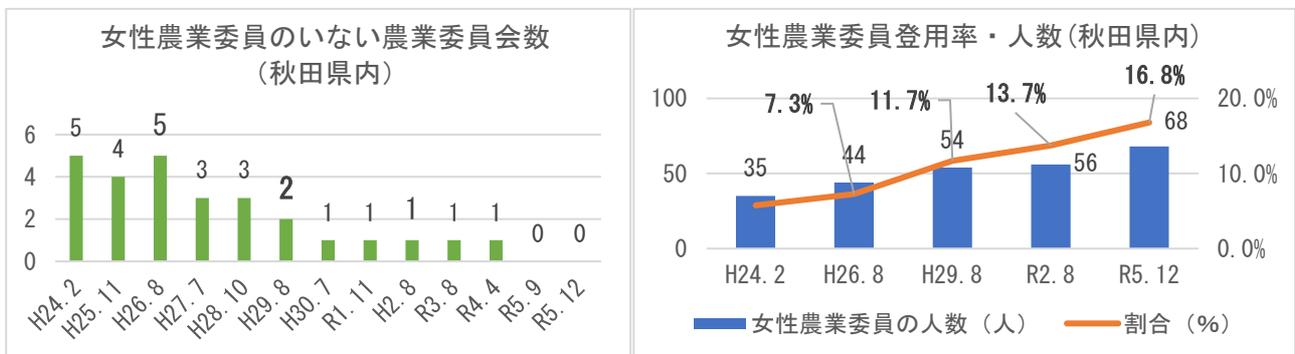
翌8日には、研修会出席者であった岩手県花巻市の8名の女性委員の皆様と本協議会の役員4名が「フードドライブ」の取り組みについて秋田市内で意見交換会しました。本協議会役員から各委員会での取り組みや課題等について報告し、コロナ禍をはじめとした社会情勢の変化を背景とした取り組みの重要性などについて語り合いました。【写真：意見交換の様子】



3. 県内の女性農業委員・農地利用最適化推進委員の登用促進の状況について

令和5年度中に県内18の市町村で農業委員・農地利用最適化推進委員の改選が行われた結果、第5次男女共同参画計画における目標の中に掲げられている「農業委員会において女性の委員が登用されていない組織を令和7年度までにゼロにする」について、本県で達成いたしました。また、県内の女性農業委員・農地利用最適化推進委員の合計はこれまでの65名から16名増え、令和6年3月現在で81名（うち農業委員68名（登用率16.8%）、農地利用最適化推進委員13名（登用率4.9%）、全体の登用率は12.1%）に拡大し、県内で活躍しています。（関連記事3，6）

登用促進に向けた関係者の皆様のご尽力の賜物であり、深く感謝いたします。今後とも本協議会及び会員へのご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。



4. 女性の委員登用促進に向け活動

農業委員会への女性登用に向けた取組強化に向け、令和5年度は仙北市（※令和5年12月）、能代市（※令和6年7月）、八峰町（※令和6年6月）、三種町（※令和6年7月）に対し意見交換等の活動を行いました。（※改選次期）

仙北市、能代市、八峰町では県農業会議の二田孝治会長と共に市長・町長に面会し女性の積極的な登用・理解促進・候補者の推薦・募集について要請しました。



【要請活動の様子 左から 仙北市、能代市、八峰町】

5. 総会・研修会の開催と役員を選任について

農業委員会の改選と役員任期に伴い、令和5年度は総会・研修会を2度開催しています。

令和5年6月29日には秋田市「秋田地方総合庁舎」において第18回総会を開催し令和4年度事業報告及び決算について原案どおり承認しました。終了後の令和5年度研修会では「女性委員が活躍しやすい環境とは」をテーマにグループディスカッションを行い「意見が言えるような雰囲気作りが大切」「男女共同参画の取組には男性の参加が不可欠」など、現状を踏まえたたくさんの意見がありました。

役員（令和5～7）年度

会 長	加藤エリ子	湯沢市農業委員
副会長	金田悦子	北秋田市農業委員
副会長	柴田ますみ	秋田市農業委員
監 事	遠藤タミ子	横手市農業委員※ ※令和6年3月31日まで
監 事	佐々木美奈子	潟上市農業委員※ ※令和6年4月1日から
監 事	野村良子	三種町農業委員

令和5年9月4日には秋田市「秋田県社会福祉会館」において第19回総会を開催し、令和5年度事業計画・収支予算、令和5年度会費の賦課・納入方法・預入先金融機関について原案どおり決定し、役員を選出について全員の再選を決定しました。終了後の令和5年度第2回研修会では、農業委員会活動記録簿の書き方、農地法第3条・第4条・第5号と案件の例について取り上げ、担当者の説明の後、取り組む上での課題や工夫している

点について意見が交わされました。

また、農業委員任期等の都合から、監事の補充選任を行うため、令和6年3月11日を期日に書面にて第20回総会を開催し、監事1名の選任を決定しました。

6. 県農業会議会長らと意見交換・県農業会議第93回常設審議委員会で情報提供



【意見交換の様子】

今後、本協議会が取り組みたい事項や抱える課題について、令和5年12月6日に秋田市内で本協議会役員4名が県農業会議の二田孝治会長、横手市農業委員会の飯野正和会長と意見交換を行いました。

主に、本協議会による政策提案活動の実施、活動資金の確保について取り上げ、その内容は県農業会議の第93回常設審議委員会において情報提供されました。

同審議委員会では、本協議会による政策提案活動の実施について、意義・目的の説明や他組織が実施する内容との差別化、背景・根拠・データ等を踏まえた意見・要請事項の積み上げと組織検討、県農業会議が既に取り組んでいる内容との整合性の確保や差別化が今後の検討のポイントであり、また、活動資金の確保については、主な財源である会員会費について市町村等より予算措置して欲しいこと・主に県外で開催される研修会等への参加旅費を予算措置して欲しいこと・市町村巡回などに係る役員への手当や報酬を確保したい等の要望がある旨報告されました。

7. 新会員の農業委員会業務への意気込み

令和5年7月・8月に行われた農業委員・農地利用最適化推進委員の改選により、新たに21名が本協議会へ入会しました。新会員の皆様を農業委員会業務への意気込みや抱負とともにご紹介いたします。※7～8月の新会員の皆様のうち、19名からお寄せいただきました。

鹿角市農業委員会 農業委員 成田みゆき さん



農業委員として出来ることを考える時、私は楽しく、ワクワクすることがしたい。

出来れば、田植えも手で植えて昔ながらのはさがけをし、集まった人達で畦でおむすびを食べる。無肥料・無農薬の米。畑は色々な野菜、果物、花、草がバランスよく生え、無肥料・無農薬の畑を作りたい。

子供、障害といわれるものを持っている方、施設で過ごす年配の方、年齢や性別に関係なく作業したり、食べたりして集まる場所を作りたい。

鹿角市農業委員会 農地利用最適化推進委員 村木やす子 さん



農地利用最適化推進委員とは、市町村の非常勤の特別職公務員で、農業委員と力を合わせて、担当区域の担い手への農地集積や、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進などの活動を行う仕事だそうです。担当区域でも、現地調査の際、遊休農地が沢山ありました。年々増えているのではないかと思います。私も農家ですが、非農家のため、農地を探し、遊休農地を開拓しました。時間も費用も掛かり大変でした。その思いがあるので、遊休農地の利用促進に力を入れていきたいです。どうぞよろしくお願い致します。

鹿角市農業委員会 農地利用最適化推進委員 柳沢幸子 さん



令和5年4月から農地利用最適化推進委員になり、何も分からないまま時が過ぎました。この1年は研修会などに積極的に参加したり、農地パトロールなどの活動のほか様々な活動を通して先輩方にご指導いただき勉強しています。農業者の高齢化などこれからの農業が抱える問題は山積みだと思いますが、地域の農家の皆さんの力になれるよう、また農地を守るために頑張っていきたいと思います。

大館市農業委員会 農業委員 岩澤トシ子 さん



令和5年7月に辞令を受け農業委員として、先輩委員そして事務局の皆さんから指導を受けながら活動をしています。

農地パトロールでは、耕作されていない農地が多く、また農業者の高齢化や後継者不足の問題が深刻になっていると感じました。

後継者不足など様々な課題をもつ地域農業のため農業委員として学びながら少しでもお役に立てるよう努めてまいりたいと思います。

大館市農業委員会 農業委員 嶋田久美子 さん



令和5年7月から農業委員になり、何もわからないまま、年を越してしまいました。

総会、農地パトロール、委員活動に参加し近年の自然災害の爪痕、農業者の高齢化による管理の行き届かない農地や様々な条件の農地を知り、大変な仕事をお引き受けしたと実感しておりますと同時に、先輩や事務局の方々のご指導をいただきながら、農業委員の勉強をし、少しでもお役に立てるようになりたいと思います。

北秋田市農業委員会 農業委員 中林めぐみ さん



昨年より農業委員になり約半年が過ぎました。何もかもが初めてのことで、覚えることが沢山あり大変ですが、先輩方に教えていただきながら自分が出てくることから頑張っていきたいと思います。女性の視点から地域農家の皆様のお役に立てるように日々勉強して行きたいと思います。

北秋田市農業委員会 農業委員 多賀谷テル子 さん



突然声を掛けられてビックリしたものの、70歳になり私なりに生き方はこれでいいのかと日々思っていた時の出来事でした。迷いながらも学んでみてもよいのではないかと挑戦してみたものの、文書は理解不能としか言えない現状です。とにかく先輩の方々、特に女性のみなぎる元気についていけるようにします。

北秋田市農業委員会 農業委員 土田紀子 さん



昨年7月より農業委員になり先輩方に様々なことを教えていただきながら総会や農地パトロールなどの活動を通して学ぶことの多い日々です。離農者や遊休農地の増加、農家の高齢化による担い手不足など多くの課題がある中、農業委員の仕事の大切さ、意義を実感しております。活動を通して、地域の農家や自然、食、そしてこれからの農業について考え、学び、精一杯頑張ります。よろしく願いいたします。

上小阿仁村農業委員会 農業委員 宮越いづみ さん



令和5年7月から農業委員となり活動させていただいております。先輩方からご指導を受け、不慣れながらも8ヶ月が経とうとしております。まだまだ知らない事も多く、研修等に参加し、日々勉強しています。

農業委員として未熟ではありますが、地域の農業、そして、農業に携わる人たちのお役にたてるよう邁進していきたいと思っています。

秋田市農業委員会 農業委員 佐藤きよ子 さん



令和5年7月に農業委員として任命頂きましてから数々の研修を受講し、また北海道・東北ブロック女性農業委員研修会に参加し、農地利用最適化推進活動に対する女性農業委員としての役割の重要性と多様性、そして難しさをひしひしと感じております。今ある農地を未来にも農地として残していくため、先輩農業委員の皆様にご指導いただきながら、地域農業発展のお役に立てる農業委員になりたいと思っています。

潟上市農業委員会 農業委員 伊藤由香里 さん



令和5年7月に農業委員を拝命し、毎月行われる総会や各種研修会に出席し、初めて耳にする用語などに戸惑いながらも、スマホでそれがどういう意味かを調べて勉強している日々です。

農地パトロールでは、こんなにも遊休農地があるのかと、今の農業離れを感じました。

女性にしかできないことはないのだろうか、もっとネットワークを繋いで意見交換の場を作り、活性化のある農業を考えていき、一人でも農業をやってみたいと思う人が増えてくれればと思っています。

五城目町農業委員会 農業委員 伊藤信子 さん



令和5年7月から農業委員としての大変さを感じながら、務めさせていただいております。今年は、水害被害・高温障害という問題を抱えながら一年を過ごそうとしております。そのため、農業を退く人がますます増えてきております。

今後は、若者の育成、担い手不足の確保を少しでも補えるよう、また、不安を感じながらの農業を和らげるために、先輩たちから教えを賜り、努力をしていきたいと思っています。

由利本荘市農業委員会 農地利用最適化推進委員 伊藤美恵子 さん



令和5年8月に推進委員として任命され、総会、農地パトロール等の活動に参加して来ました。ただただ先輩、事務局の方々の後について廻るだけで、勉強することの多い日々です。

近頃、地域では受け手のいない農地が増える一方で、個人の力だけで解決できるのかと思ってしまう。“あきらめなければ夢は（受手見つかる）近づいて来る”と信じて、もう少し勉強してみたいと思います。

由利本荘市農業委員会 農地利用最適化推進委員 菊地裕子 さん



私の若い頃父が農業委員をやっていたので名前は知っていましたが、年をとり何も知らない自分が委員を引き受ける事になるとは思ってもいませんでした。時代が変わり農業だけでは収入や利益は無く後継者達は皆勤めに出る様になり高齢化農業となっています。我が家もその一人です。しかし委員を引き受けたからには迷惑をおかけすると思いますが、事務局や他の委員さん方の教えを頂きながら任期をまっとうする様頑張りたいと思います。

大仙市農業委員会 農業委員 桜田友子 さん



令和5年7月より任命を受け数ヶ月経ちましたが、思いのほか活動が幅広く、そして農業に対して自分の知識の無さを実感しています。女性登用促進ということで軽く引き受けてしまった後悔が大きかったのですが、少しずつ女性の視点だからこそ、相談や課題に対応できることもあるのではないかと思いますようになってきました。そのためにも勉強を怠ることなく、日々地域の農業を見守っていければと思っています。

美郷町農業委員会 農業委員 齋藤美由木 さん



昨年7月より、農業委員の中立委員として仕事をさせて頂いています。農家の皆さんは様々な問題を抱え、小さな農業から大きな農業へ移行行くことに戸惑いを感じながらも、地域の食文化を守りながら新しいことにも挑戦し、美味しく安全な食べ物を提供頂いています。

直接農業に携わっていない私は、農家の皆さんの声を沢山お聞きしたいと思っております、先輩委員のご指導から学んだことを行動に移し、微力ながら頑張っております。

湯沢市農業委員会 農業委員 福島富子 さん



農業に従事しながら、これからの農業に不安を感じていました。
令和5年8月より農業委員として任命を受け、活動に取り組んでいます
が、見聞きしながらその大変さを実感しているところです。
担い手不足による食糧危機の深刻化、安全な食糧の確保を守り続ける為
に委員としての役割の大切さを知り、先輩方々の指導を頂きながら、研修会
にも参加し少しでも地域のお役に立てるよう頑張りたいと思います。

湯沢市農業委員会 農業委員 加藤艶子 さん



令和5年8月に農業委員の拝命を受け、農業委員としての役割や多様な
活動を勉強しながら、また先輩委員や事務局の方々に助けられながら従事
している日々です。少子高齢化、担い手不足、遊休農地の増加等、深刻な問
題が山積みの農業情勢に農業委員は大きな存在であることを痛感していま
す。地域農業のあり方、そして多種多様な農業のあり方についても女性なら
ではの柔和な対応で農業コミュニティや行政の橋渡し役になれるように頑
張っていきたいと思っています。

湯沢市農業委員会 農地利用最適化推進委員 加藤佐枝子 さん



令和5年8月から農地利用最適化推進委員を拝命し、何もわからない状況
から農地パトロールなどの活動を通して先輩方からのご指導をいただきな
がら務めて参りました。推進委員の仕事は何？というゼロからの始まりです
ので、研修会等には積極的に参加し勉強をして行きたいと思っております。
地域農業の抱える課題に少しでもお役に立てるように、また女性目線からの
アプローチもできるように努力して参りたいと思っております。

－お悔やみ－

本協議会の会員であった能代市農業委員の工藤玲子さんが9月10日で逝去されました。ご冥福
をお祈り致します。

編集・発行：秋田県農業委員会女性協議会（事務局：一般社団法人秋田県農業会議）
秋田市山王4丁目1-2 秋田地方総合庁舎内 TEL:018-823-2785 FAX:018-823-7361